

コンサルタント等契約(業務実施)(2024年3月13日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。

注2) プレ公示に関するお問合せは、以下のリンク先をご覧ください(https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer_202108.html)

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) コンサルタント等契約の直近の制度変更についてはJICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認ください。(<https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html>)

注5) 価格開封会及び入札会は「電子入札システム」を通じて行います。(JICAウェブサイト電子入札ポータルサイト:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/ebidding.html>)

注6) 2022年11月2日以降の公示、2022年12月中旬以降の新規契約締結分につき、原則、契約書への電子署名を導入します。(https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021_01.html)

★	調達管理番号	23a00867000000	調達件名	トルコ国製鉄業界における温室効果ガス排出削減促進アドバイザー業務 (QCBS-ランプサム型)		
公示日 (予定)	2024年3月21日	担当部課	社会基盤部資源・エネルギーグループ	業務種別	業務実施契約ー【事業実施・支援業務】技術協力個別案件	
履行期間 (予定)	2024年5月17日 ~ 2025年11月17日		選定方法	企画競争		
業 務 内 容	<p>【背景】 製鉄産業はGHG多排出分野であり、全世界的に製鉄セクターの低炭素化が図られている。トルコの粗鋼生産量は2019年時点で世界第8位(トルコの総エネルギー消費に占める鉄鋼業の割合は約3割)で、EU向け輸出が多く、炭素国境調整メカニズム(CBAM)への対応が急務となっている。鉄スクラップからの粗鋼生産が主流のため、高炉対電炉の割合が3対7と電炉が多いことが特徴で、設備の老朽化が進行していることが予想され、エネルギー効率の高い機器導入等により製鉄セクターの低炭素化が期待される。 本プロジェクトは製鉄プロセスのエコプロセス促進に向け、省エネ基準・技術のや診断に係る能力強化を図るものであり、低炭素化の促進に資するものである。</p> <p>【目的】 製鉄分野省エネのフレームワークや技術の紹介、製鉄所の省エネ診断やエネルギー効率利用のための能力強化を行うことでエコプロセスの推進を図り、もって製鉄分野の低・脱炭素化に寄与するもの。</p>			留 意 事 項	<p>【人月合計】 19人月(想定)</p> <p>【その他留意事項】 プレ公示の内容は若干の変更の可能性があります。</p>	

コンサルタント等契約(業務実施)(2024年3月13日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。

注2) プレ公示に関するお問合せは、以下のリンク先をご覧ください(https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer_202108.html)

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) コンサルタント等契約の直近の制度変更についてはJICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認ください。(<https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html>)

注5) 価格開封会及び入札会は「電子入札システム」を通じて行います。(JICAウェブサイト電子入札ポータルサイト:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/ebidding.html>)

注6) 2022年11月2日以降の公示、2022年12月中旬以降の新規契約締結分につき、原則、契約書への電子署名を導入します。(https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021_01.html)

★	調達管理番号	23a00965000000	調達件名	チュニジア国電力システムにおける安定的供給と低炭素化プロジェクト		
公示日(予定)		2024年3月21日	担当部課	社会基盤部資源・エネルギーグループ	業務種別	業務実施契約ー【事業実施・支援業務】技術協力個別案件
履行期間(予定)		2024年5月15日 ~ 2026年7月29日	選定方法	企画競争		
業 務 内 容	<p>【背景】 チュニジアでは、2010年から2020年の10年間で電力需要が約28%増加し約16,144GWhとなっているが、発電設備の約94%が火力発電設備となっており、輸入化石燃料への依存度を高める一因となっていることから、国産エネルギーへの転換が喫緊の課題となっている。この状況を改善するため、チュニジア政府は「エネルギー国家戦略」において、電源構成における再生可能エネルギーの割合を、2030年までに30%まで引き上げることと決定するとともに、2022年にはパリ協定に沿って策定した長期低排出発展戦略(LT-LEDS)において、2050年までの炭素中立達成を掲げている。2023年には、「エネルギー戦略2035」を発表し、2030年時点の再エネ導入割合を35%まで引き上げるとともに、再エネ導入拡大と併せ、特に輸送部門の電化を促進するため電気自動車普及に向けた政策推進を掲げている。一方、大量の変動性再エネの導入は、電力システムを不安定化させる懸案があり、電力システムにおける短期・長期の周波数変動や系統制約への対応が必要となる。この対策として、発電機等の運用に加え、蓄電システムによる調整力整備や分散型電源等も考慮した統合的な計画・運用による最適な需給バランス確保の方策検討が必要な状況である。</p>			留 意 事 項	<p>【活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中央給電指令所の需給・周波数調整能力の確立 ・ EV普及に向けた系統運用面での影響の確認、能力強化 ・ BESS導入における概略設計 <p>【人月合計】 約40人月</p> <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ RDは2024年3月中旬に署名予定です。 ・ プレ公示の内容は若干の変更の可能性があります。 	

コンサルタント等契約(業務実施)(2024年3月13日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。

注2) プレ公示に関するお問合せは、以下のリンク先をご覧ください(https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer_202108.html)

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) コンサルタント等契約の直近の制度変更についてはJICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認ください。(<https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html>)

注5) 価格開封会及び入札会は「電子入札システム」を通じて行います。(JICAウェブサイト電子入札ポータルサイト:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/ebidding.html>)

注6) 2022年11月2日以降の公示、2022年12月中旬以降の新規契約締結分につき、原則、契約書への電子署名を導入します。(https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021_01.html)

★	調達管理番号	23a00940000000	調達件名	アフリカ地域(広域) TICAD9におけるアフリカの角地域の若者、脆弱層および女性への協力戦略の検討に係る情報収集・確認調査(QCBS-ランプサム型)		
公示日(予定)	2024年3月21日	担当部課	アフリカ部アフリカ第二課	業務種別	業務実施契約-【調査業務】基礎情報収集・確認調査	
履行期間(予定)	2024年6月12日 ~ 2025年4月15日		選定方法	企画競争		
業 務 内 容	<p>【背景】 アフリカの角地域では、紛争、気候変動、経済悪化等により世界で最も不安定な地域の一つであり、その影響を最も受けているのは若者、脆弱層および女性と言われ、脆弱国や紛争国において開発や発展から取り残されてきたこれらの人々にも目を向けた横断的支援アプローチが求められている。当該地域各国や地域機構では、若者、脆弱層および女性の保護や社会参画に向けた地域的な対応の検討や取り組みを開始する中、TICAD9に向けてJICAとしても、当該地域各国、地域機構や他ドナー等との連携を念頭に置き、当該地域における協力アプローチを打ち出す必要がある。</p> <p>【目的】 本調査は、2025年に予定されているTICAD9でのアフリカの平和と安定に資する協力に係る戦略・打ち出しの方向性の検討に向けて、アフリカの角地域の若者、脆弱層および女性の保護、およびこれらの人々による平和、復興、開発への参画を取り巻く状況・課題、またそれに対する各国の取り組み、援助の潮流について情報収集・分析を行い、国際場裏での議論を喚起すべき課題、論点及び推奨される取り組みを整理し、若者、脆弱層および女性を主体としたレジリエントな社会の構築に向けた横断的支援アプローチおよび広域支援内容を提示することを主たる目的とする。</p> <p>【調査内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 同地域各国の若者、脆弱層、女性を取り巻く状況・動向、および課題の抽出と分析。 2. 抽出された課題に対する各国、地域機構、他ドナー、NGO等の取り組み、および課題・教訓の抽出。 3. 各国でJICAが実施する若者、脆弱層、女性に焦点を当てた取り組みとその課題・教訓の抽出。 4. 若者、脆弱層および女性の保護および社会参画に係る地域機構、他ドナー、NGO等の革新的な取り組みの抽出とJICAとの協働ニーズの分析。 5. 調査結果の共有と確認を目的としたワークショップ開催。 6. 横断的支援アプローチ(案)および広域支援内容(案)の提案。 			留 意 事 項	<p>【業務担当分野一覧】 本案件では援助アプローチ、ジェンダー(女性・平和・安全保障)、法・司法アクセス、平和構築(若者・脆弱層支援)にかかる専門性を求める。</p> <p>【人月合計】 約13.41人月</p> <p>【その他留意事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. プレ公示の内容は若干の変更の可能性があります。 2. 本調査の対象地域はアフリカの角地域国(ウガンダ、エチオピア、エリトリア、ケニア、ジブチ、スーダン、ソマリア、南スーダン)ですが、現地調査はJICA安全渡航措置で渡航可能な国・地域での実施に限定します。 3. 南スーダンでは「紛争影響国・地域における報酬単価」を適用予定。 4. 南スーダン、ケニア、ジブチでは各国JICA事務所が指定するホテルのみで宿泊可能であり、特別宿泊単価を適用する。 	

コンサルタント等契約(業務実施)(2024年3月13日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。

注2) プレ公示に関するお問合せは、以下のリンク先をご覧ください(https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer_202108.html)

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) コンサルタント等契約の直近の制度変更についてはJICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認ください。(<https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html>)

注5) 価格開封会及び入札会は「電子入札システム」を通じて行います。(JICAウェブサイト電子入札ポータルサイト:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/ebidding.html>)

注6) 2022年11月2日以降の公示、2022年12月中旬以降の新規契約締結分につき、原則、契約書への電子署名を導入します。(https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021_01.html)

★	調達管理番号	23a01009000000	調達件名	コートジボワール国大アビジャン圏における持続可能な廃棄物管理の計画策定及び改善プロジェクト		
公示日(予定)		2024年3月21日	担当部課	地球環境部環境管理・気候変動対策グループ	業務種別	業務実施契約ー【事業実施・支援業務】技術協力プロジェクト
履行期間(予定)		2024年6月12日 ~ 2027年6月11日	選定方法	企画競争		
業 務 内 容	<p>【背景】 コートジボワール共和国においては、堅調な経済成長に支えられて都市開発や人口増加が急速に進んでいる状況の中で、直近の『国家開発計画(PND2021-2025)』においては、持続可能な都市開発を優先課題として位置付け、都市・社会インフラ整備に重点的に取り組む姿勢を見せている。特に大アビジャン圏では、人口増加に伴い廃棄物発生量が急増していることを受け、廃棄物の減量化に資する中間処理の導入等、持続的な都市開発に資する廃棄物管理施策や技術導入の重要性が高まっている。現状では、分別や3R(Reduce/Reuse/Recycle)といった廃棄物の減量化・資源循環システムの構築等に必要な法整備は進んでいない状況であることから、同国の廃棄物管理の全体像を把握した上で、都市レベルでの持続可能な廃棄物管理の計画策定・実施が求められている。</p> <p>【目的】 本事業は、大アビジャン圏における廃棄物管理の現状把握、廃棄物管理計画マスタープラン策定能力や住民啓発能力の強化により、同地域において、廃棄物の削減・再利用・リサイクル(3R)を含む包括的な廃棄物管理の推進に寄与するもの。</p> <p>【活動内容】 本事業は、次の活動を想定している。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 大アビジャン圏における廃棄物管理の現状把握 2 大アビジャン圏を対象とした「固形廃棄物管理マスタープラン」の策定 3 「固形廃棄物管理マスタープラン」に沿ったパイロットプロジェクトの実施 4 大アビジャン圏におけるごみ収集及び3R活動に係る住民啓発の強化 5 「固形廃棄物管理マスタープラン」策定に係るカウンターパートの能力強化 			留 意 事 項	<p>【人月合計】 約55人月</p> <p>【その他留意事項】 ・RD署名日：2024年3月11日 ・本業務は、「詳細計画策定フェーズ」を含む ・コートジボワール(アビジャン市内のみ)については、安全対策上、JICAが指定する宿泊施設以外への宿泊は認められません。このため、宿泊料については、格付の号を問わず、一律15500円/泊の定額で見積もっていただく予定です。 ・プレ公示の内容は若干の変更の可能性があります。</p>	

コンサルタント等契約(業務実施)(2024年3月13日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。

注2) プレ公示に関するお問合せは、以下のリンク先をご覧ください(https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer_202108.html)

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) コンサルタント等契約の直近の制度変更についてはJICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認ください。(<https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html>)

注5) 価格開封会及び入札会は「電子入札システム」を通じて行います。(JICAウェブサイト電子入札ポータルサイト:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/ebidding.html>)

注6) 2022年11月2日以降の公示、2022年12月中旬以降の新規契約締結分につき、原則、契約書への電子署名を導入します。(https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021_01.html)

★	調達管理番号	23a01035000000	調達件名	モンゴル国チンギスハーン国際空港に係る情報収集・確認調査【有償勘定技術支援】 (QCBS-ランプサム型)		
公示日(予定)		2024年3月27日	担当部課	東・中央アジア部東アジア課	業務種別	業務実施契約-【調査業務】基礎 情報収集・確認調査
履行期間(予定)		2024年6月12日 ~ 2025年1月31日	選定方法	企画競争		
業 務 内 容	<p>【背景】 モンゴルでは、2021年7月に同国唯一の国際空港として新たにチンギスハーン国際空港が開港し、旧空港からの移転が行われた。新型コロナウイルス感染症拡大により、一時的に旅客・貨物数が落ち込んだものの、2022年より徐々に回復、2023年実績で、コロナ禍以前の旅客・貨物水準を上回っている。当初案件形成時の想定よりも需要の伸びが早まっており、特に観光需要の増加や中国のゼロコロナ政策解除を受けた航空貨物需要の高まりによって夏季は数日程度空港施設内が混雑する状況も発生しているため、モンゴル政府において将来的な空港拡張の必要性が議論されている。このような中で空港施設拡張に関する円借款活用について日本側へ要請され、日本が継続的に関与していくことへの期待が示されている。</p> <p>【目的】 本調査は、トゥブ県フシグ谷にあるチンギスハーン国際空港(以下、新空港という。)を対象に、個別案件の形成に向けた案件計画会議等の政府との協議に必要な情報収集・分析を行うもの。具体的には、既存施設の状況、将来的な需要予測及び適正規模の施設拡張に係る基礎的な情報収集・分析を行うとともに、現在の運用状況に係る課題を把握し、望ましい新空港の在り方に関する提言をまとめることを目的とする。</p> <p>【活動内容】 (1) 関連資料・情報の収集・分析、(2) 現地調査に向けた先方関係機関への質問票作成、(3) インセプションレポートの作成、(4) 航空セクターの現状の確認、(5) 新空港の現況調査、(6) 航空需要予測のレビュー及び空港施設の拡張必要性の評価、(7) 需要増加に対応するオプションの検討、(8) ドラフトファイナルレポートの作成、(9) ファイナルレポートの作成、等</p>			留 意 事 項	<p>【業務従事者の専門分野】 本案件では空港施設のみならず空港運用に係る専門性を求める。</p> <p>【人月合計】 約10.40人月</p>	

コンサルタント等契約(業務実施)(2024年3月13日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。

注2) プレ公示に関するお問合せは、以下のリンク先をご覧ください(https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer_202108.html)

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) コンサルタント等契約の直近の制度変更についてはJICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認ください。(<https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html>)

注5) 価格開封会及び入札会は「電子入札システム」を通じて行います。(JICAウェブサイト電子入札ポータルサイト:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/ebidding.html>)

注6) 2022年11月2日以降の公示、2022年12月中旬以降の新規契約締結分につき、原則、契約書への電子署名を導入します。(https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021_01.html)

★	調達管理番号	23a00732000000	調達件名	ネパール国基礎教育の質の向上支援プロジェクト			
公示日(予定)		2024年3月27日	担当部課	人間開発部基礎教育グループ	業務種別	業務実施契約ー【事業実施・支援業務】技術協力プロジェクト	
履行期間(予定)		2024年6月12日 ~ 2029年6月29日	選定方法	企画競争			
業 務 内 容	<p>【背景】 ネパール教育科学技術省は、学校教育セクター計画(2022/23~2031/32年度)において、教育の質の強化を主要課題の一つとして、教員の職能開発、地方政府による教員への継続的な支援体制の構築を掲げている。しかし、教員研修実施体制の整備が必要であること、2019年に導入された統合カリキュラムへの教員の理解が十分でないこと等の課題がある。</p> <p>【目的】 本事業は、ネパール全国において、学校現場で継続的な教員職能開発の支援体制の整備や人材強化に取り組み、授業改善に向けた好事例を全国で共有することにより、低学年算数のカリキュラム実践の強化を図り、もって基礎教育課程の児童生徒の基礎レベルの算数の学びの改善に寄与するもの。</p> <p>【活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・統合カリキュラム実践状況の調査・分析を行う。 ・TPDのための教員研修の普及をハイブリッド形式で促進支援する。 ・算数に重点をおいた低学年の授業改善のための学校レベルのTPD活動が継続的に実施されるよう支援する。 ・算数基礎学力の向上に向けて、低学年授業改善のためのTPD活動に関する好事例や教訓を全国的に共有する。 			留 意 事 項	<p>【業務従事者の専門分野】 本案件においては、教員教育、算数教育、教育評価、ICT等に係る専門性を求める。</p> <p>【人月合計】 約90人月</p> <p>【その他留意事項】 2024年3月にR/D署名予定。</p>		

コンサルタント等契約(業務実施)(2024年3月13日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。

注2) プレ公示に関するお問合せは、以下のリンク先をご覧ください(https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer_202108.html)

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) コンサルタント等契約の直近の制度変更についてはJICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認ください。(<https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html>)

注5) 価格開封会及び入札会は「電子入札システム」を通じて行います。(JICAウェブサイト電子入札ポータルサイト:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/ebidding.html>)

注6) 2022年11月2日以降の公示、2022年12月中旬以降の新規契約締結分につき、原則、契約書への電子署名を導入します。(https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021_01.html)

★	調達管理番号	23a01037000000	調達件名	アフリカ地域(広域)東アフリカ・大湖地域における人の移動と難民に係る基礎情報収集・確認調査(QCBS-ランプサム型)		
公示日(予定)	2024年3月27日	担当部課	ガバナンス・平和構築部平和構築室	業務種別	業務実施契約-【調査業務】基礎情報収集・確認調査	
履行期間(予定)	2024年6月20日	～	2025年7月18日	選定方法	企画競争	
業 務 内 容	<p>【背景・目的】 近年増加傾向にあるアフリカにおける移民・難民を含む人の移動は、とりわけ東アフリカ・大湖地域で顕著であり、その背景には長期化する紛争、脆弱な統治、人口圧力、気候変動等の要因が存在する。多くの国が発生源国であると同時に受入国である等、国境を越えた地域的性格を有しており、一国だけによる対応には限界がある。日本政府が難民等支援で推進する人道と開発と平和の連携(HDPネクサス)を展開していくうえでも、地域的な人の移動の中で難民を取り巻く課題を理解するとともに、地域機構が果たす役割も踏まえた地域的な視点に基づくアプローチが必要となる。そのため、本調査では、東アフリカ・大湖地域(12か国)における今後の難民支援の在り方を検討することを目的に、これを地域的な視点から見た調査を行うものとする。</p> <p>【調査内容】(想定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●調査対象：ブルンジ、コンゴ民主共和国、ジブチ、エリトリア、エチオピア、ケニア、ルワンダ、ソマリア、南スーダン、スーダン、タンザニア、ウガンダの関係機関及びAU(エチオピア)、EAC(タンザニア)、IGAD(ジブチ)の各機関 ●調査サイト：第一段階調査は国内、第二段階調査は国内および対象12か国のうち第一段階調査で選ばれた3か国並びにUNHCR東部アフリカ(EHAGL)地域事務所(ケニア)、AU(エチオピア)、EAC(タンザニア)、IGAD(ジブチ)の本部所在国を対象に、安全対策措置で渡航可能な首都及び地方部での調査を行う。 ●主要成果：国別及び地域的な協力のあり方(支援戦略)の提案 			留 意 事 項	<p>【業務従事者の専門分野】 本案件では調査対象地域及び難民分野の専門性を求める。</p> <p>【人月合計】 18人月程度</p> <p>【その他留意事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人月は今後最終調整される予定です。 ・コンゴ民主共和国(キンシャサ市を除く)、エリトリア、南スーダン、スーダンでは「紛争影響国・地域における報酬単価」を適用予定です。 ・ケニア、南スーダンの宿泊料については、「コンサルタント等契約における経理処理ガイドライン」の「別添資料3：特別宿泊料単価」をご参照ください。 ・プレ公示の内容は変更の可能性があります。 	

コンサルタント等契約(業務実施)(2024年3月13日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。

注2) プレ公示に関するお問合せは、以下のリンク先をご覧ください(https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer_202108.html)

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) コンサルタント等契約の直近の制度変更についてはJICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認ください。(<https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html>)

注5) 価格開封会及び入札会は「電子入札システム」を通じて行います。(JICAウェブサイト電子入札ポータルサイト:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/ebidding.html>)

注6) 2022年11月2日以降の公示、2022年12月中旬以降の新規契約締結分につき、原則、契約書への電子署名を導入します。(https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021_01.html)

★	調達管理番号	23a01006000000	調達件名	ガーナ国AfCFTA推進下の産業振興およびスタートアップエコシステム強化に係る情報・収集確認調査(QCBS-ランプサム型)		
公示日(予定)	2024年3月27日	担当部課	アフリカ部アフリカ第二課	業務種別	業務実施契約-【調査業務】基礎情報収集・確認調査	
履行期間(予定)	2024年6月19日	～	2026年2月27日	選定方法	企画競争	
業 務 内 容	<p>【背景】ガーナは西アフリカの中でも政治的・治安的にも安定しており西アフリカ諸国経済共同体(ECOWAS)等の主要国であり、近年はアフリカ大陸自由貿易圏(AfCFTA)の事務局を構えるなど経済のけん引役としても期待されている。同国でスタートアップ関連法案の制定が検討されていることからスタートアップ(SU)及び輸出産業振興に係る協力の重要性が高まっている。</p> <p>【目的】本調査は、同国のSU法案制定に向かうSUエコシステムの最新状況に加え、以上のような民間セクターに関係するダイナミックな動向およびJICAのこれまでの協力実績も踏まえ、AfCFTA下の産業振興およびSUエコシステムの強化を中心とした民間セクター開発分野に対するプログラムレベルのJICAの協力方針及び個別案件形成の方向性を検討するために実施するもの。</p> <p>【活動内容】 以下3つのコンポーネントを含む調査分析と提言を行うものとする。</p> <p>(1) SUエコシステム強化にかかる調査・協力候補案件の検討 SUエコシステム調査、関連機関プロジェクト調査、関連アクター情報整理、SU関連法案先進国への視察調査、これらに基づく支援策の検討、関連機関との協議、アクションプラン作成・一部実施。</p> <p>(2) SUハブ(ファブリケーション)強化・設置 既存SUハブの調査分析、コンセプト案の作成、国際的な基準を満たすためのFab Academyと連携した人材育成、SUハブにおける無償資金協力案の検討と協議、運営維持管理体制の検討、開発効果の検討、概略的設計案と積算金額の検討。</p> <p>(3) AfCFTA下の産業振興・バリューチェーン強化 AfCFTAと関連した支援状況の情報整理・分析、ガーナ側と協議のうえ支援対象産品およびバリューチェーン調査分析、具体的活動案及び実施体制の検討、関連セミナー等の実施、本邦もしくは他国会合への視察参加及び得られた教訓を具体的活動案への反映。</p>			留 意 事 項	<p>【業務従事者の専門分野】 本案件ではスタートアップエコシステム、スタートアップ関連法案、スタートアップ・ハブ施設(主にファブリケーション分野)、産業振興・輸出振興に係る専門性を求める。</p> <p>【人月合計】 約20人月規模(研修の実施規模、視察渡航の内容を精査中であり、若干の変更の可能性があります)</p> <p>【その他留意事項】 ・プレ公示の内容は若干の変更可能性があります。</p>	

コンサルタント等契約(業務実施)(2024年3月13日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。

注2) プレ公示に関するお問合せは、以下のリンク先をご覧ください(https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer_202108.html)

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) コンサルタント等契約の直近の制度変更についてはJICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認ください。(<https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html>)

注5) 価格開封会及び入札会は「電子入札システム」を通じて行います。(JICAウェブサイト電子入札ポータルサイト:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/ebidding.html>)

注6) 2022年11月2日以降の公示、2022年12月中旬以降の新規契約締結分につき、原則、契約書への電子署名を導入します。(https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021_01.html)

★	調達管理番号	23a01004000000	調達件名	マダガスカル国鉱物資源人材育成に係る基礎情報収集・確認調査 (QCBS-ランプサム型)		
公示日(予定)		2024年3月27日	担当部課	社会基盤部資源・エネルギーグループ	業務種別	業務実施契約ー【調査業務】基礎情報収集・確認調査
履行期間(予定)		2024年6月19日 ~ 2025年10月31日	選定方法	企画競争		
業 務 内 容	<p>【背景】 マダガスカル国は豊富な鉱物資源に恵まれており、ニッケル、クロム、コバルト、イルメナイトを産出し、特にニッケルについては、日系企業が大規模な精錬事業を行っており、同国が我が国にとって総輸入量の17%を占める最大の輸入相手国となっている(2021年)。政府はこれからも積極的に鉱物資源開発を進める意向だが、鉱業開発には地質や掘削などの鉱業分野のみならず、機械、電気電子、配管、溶接等の幅広い分野において、必要な技能を習得した労働者が安定的に供給される必要がある。現状マダガスカルでは、一定程度の質を保った労働者が十分に育成されておらず、鉱業開発における一つのボトルネックとなっている。</p> <p>【目的】 マダガスカル国鉱業の発展に資する優秀な労働者が安定的に育成され、同国の鉱業開発が推進されるべく、同国鉱業セクター人材育成に関する情報収集・分析を行い、同分野の支援策検討を行う。</p> <p>【調査内容】 (1) マダガスカルの鉱業分野人材育成体制(大学・高専・技術高校・職業訓練校等)に係る情報収集・整理 (2) 鉱業分野における人材ニーズに係る情報収集・整理 (3) 質・量両面での鉱業分野における人材育成ギャップ分析 (4) 他国協力事例視察(但し、相手国関係者による他国協力事例視察) (5) パイロット活動(教官指導能力向上等を想定するが具体的には調査の中で提案) (6) 鉱業分野人材育成についての提案、JICA支援案提案</p>			留 意 事 項	<p>【業務担当分野一覧】 本案件は、産業人材育成、職業訓練、鉱業分野人材に係る専門性を求める予定です。</p> <p>【人月合計】約15人月</p> <p>【その他】 プレ公示の内容は若干の変更の可能性があります。</p>	

コンサルタント等契約(業務実施)(2024年3月13日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。

注2) プレ公示に関するお問合せは、以下のリンク先をご覧ください(https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer_202108.html)

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) コンサルタント等契約の直近の制度変更についてはJICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認ください。(<https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html>)

注5) 価格開封会及び入札会は「電子入札システム」を通じて行います。(JICAウェブサイト電子入札ポータルサイト:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/ebidding.html>)

注6) 2022年11月2日以降の公示、2022年12月中旬以降の新規契約締結分につき、原則、契約書への電子署名を導入します。(https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021_01.html)

★	調達管理番号	23a00993000000	調達件名	モザンビーク国ナカラ市土壌侵食対策強化計画準備調査 (QCBS-ランプサム型)		
公示日(予定)	2024年3月27日		担当部課	地球環境部防災グループ	業務種別	業務実施契約ー【調査業務】協力準備調査(無償資金協力)
履行期間(予定)	2024年6月19日 ~ 2025年6月20日		選定方法	企画競争		
業 務 内 容	<p>【背景】 モザンビーク・ナカラ市はサイクロン被害が多く、近年、気候変動による降雨強度の増加が顕著となっている。同市はナカラ回廊の起点となるナカラ港を擁し、今後も同回廊を支える主要都市としての発展が期待される一方、均質な砂質土から成る斜面に市街地が形成され、排水設備等のインフラ整備不足や適切な排水を妨げる無秩序な開発が進んでいる。そのため、サイクロンに伴う土砂災害により市街地及び市内のインフラ施設への被害が生じており、今後は、災害リスク削減を重視した同市の開発が不可欠である。かかる状況下、砂防施設を整備し、市街地及びインフラ施設への土砂流出を抑制することが喫緊の課題であることから、ナカラ市役所は本事業を我が国に要請した。</p> <p>【本事業の目的】 本事業はナカラ市内2流域(モコニ流域、トリアングロ流域)での砂防施設整備により、市街地や幹線道路に与える土砂災害被害軽減を図り、もって居住環境改善及び経済発展に寄与する。</p> <p>【本調査の内容】 本調査は、無償資金協力の活用を前提に、本事業の実施に必要な事業内容と規模、概略設計及び実施計画の検討を行い、併せて概略事業費積算を目的とする。また、相手国負担事項及び運営・維持管理のための人材・予算状況の確認も行う。</p> <p>【活動内容】 (1)第1回現地調査：業務計画書(案)策定のための状況確認(可能な限りで、施設整備計画の検討や提案、報告書案作成に必要な調査、協議を含む) (2)国内作業：業務計画書(案)、インセプションレポート(案)の作成 (3)第2回現地調査：業務計画書(案)の説明・協議、施設整備計画の検討や提案、報告書(案)作成に必要な測量・調査、協議 (4)国内解析作業：概略設計の策定、概算事業費の積算、準備調査報告書(案)等の作成 (5)第3回現地調査(概略設計協議)：準備調査報告書(案)や先方負担事項等に関して、先方関係者に説明・協議</p>			留 意 事 項	<p>【人月合計】 約28.23人月</p> <p>・プレ公示の内容は若干の変更の可能性があります。</p>	

コンサルタント等契約(業務実施)(2024年3月13日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。

注2) プレ公示に関するお問合せは、以下のリンク先をご覧ください(https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer_202108.html)

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) コンサルタント等契約の直近の制度変更についてはJICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認ください。(<https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html>)

注5) 価格開封会及び入札会は「電子入札システム」を通じて行います。(JICAウェブサイト電子入札ポータルサイト:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/ebidding.html>)

注6) 2022年11月2日以降の公示、2022年12月中旬以降の新規契約締結分につき、原則、契約書への電子署名を導入します。(https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021_01.html)

★	調達管理番号	23a00997000000	調達件名	セネガル国相互運用可能な省庁間データ交換基盤導入プロジェクト		
	公示日(予定)	2024年3月27日	担当部課	ガバナンス・平和構築部STI・DX室	業務種別	業務実施契約ー【事業実施・支援業務】開発計画調査型技術協力(技術協力プロジェクト)
	履行期間(予定)	2024年6月19日 ~ 2027年6月30日	選定方法	企画競争		
業 務 内 容	<p>【背景】 セネガルでは、旧来の国民IDカードおよび選挙用登録カードを2016年より生体認証付きの新しいスマートカードに置き換える等、各所でデジタル化が進んでいる。一方、国民IDや住民登録情報の他公共サービス情報との連携は限定的であり、多数の行政情報システムが乱立していることから、国民はデジタル化の恩恵を十分に得られていない状況である。</p> <p>【目的】 本事業は、セネガルにおいて、省庁間データ交換基盤の整備に必要な体制構築及びロードマップ作成、並びに特定の領域でのパイロット版のデータ交換基盤の開発により、省庁間データ交換基盤の導入を図り、政府省庁が有する情報システムの相互運用性の強化に寄与する。</p> <p>【活動内容】 1) データ交換基盤の効果的な構築に必要な体制が組織される。 2) データ交換基盤の本格的な構築・運用をするためのロードマップが策定される。 3) パイロット版のデータ交換基盤が開発される</p>			留 意 事 項	<p>【人月合計】 46.0人月(変更の可能性があります。)</p> <p>【その他留意事項】 RD署名済 プレ公示の内容は若干の変更の可能性があります。</p>	

コンサルタント等契約(業務実施)(2024年3月13日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。

注2) プレ公示に関するお問合せは、以下のリンク先をご覧ください(https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer_202108.html)

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) コンサルタント等契約の直近の制度変更についてはJICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認ください。(<https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html>)

注5) 価格開封会及び入札会は「電子入札システム」を通じて行います。(JICAウェブサイト電子入札ポータルサイト:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/ebidding.html>)

注6) 2022年11月2日以降の公示、2022年12月中旬以降の新規契約締結分につき、原則、契約書への電子署名を導入します。(https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021_01.html)

★	調達管理番号	23a00839000000	調達件名	インドネシア国食料安全保障のための農業保険地方展開プロジェクト		
	公示日(予定)	2024年4月3日	担当部課	経済開発部農業・農村開発第一グループ	業務種別	業務実施契約ー【事業実施・支援業務】技術協力プロジェクト
	履行期間(予定)	2024年6月19日 ~ 2027年3月12日	選定方法	企画競争		
業 務 内 容	<p>【背景】 インドネシアでは、現中期国家開発計画に農業保険の導入が優先事項の一つとして明記されているが、保険制度と技術の改善、全国展開に向けた人材育成不足が課題となっている。本事業のフェーズ1にあたる事業では、農業保険に係る課題分析、人材育成、新しい保険スキームのパイロット事業を実施した。その後フェーズ1で明らかになった課題(保険制度と運用の更なる改善、全国展開に向けた人材育成の必要性)を踏まえた上で本事業を実施することとなった。</p> <p>【目的】 パイロットエリアにおける収量インデックス保険(Ayii)の実施、農業保険の社会化および普及に向けた研修体制の強化、実損補填型保険(AUTP)およびAyiiの技術的提言を行うことにより、農業保険事業の関係機関による農業保険の全国普及に必要な実施能力に関する能力強化を図り、もって農業保険(AUTPおよびAyii)がジャワ島を中心とした全土で普及する。</p> <p>【活動内容】上記目的を達成するため、本業務は主に以下を予定する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. パイロットエリアにおいてAyiiの実施支援および改善を行う。 2. 農業保険の社会化および普及に向けた研修実施体制構築のための支援および既存教材の改訂を行う。 3. AUTPおよびAyiiの結果と教訓をとりまとめ、技術的提言を行う。 			留 意 事 項	<p>【人月合計】 20人月</p> <p>【その他留意事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレ公示の内容は若干の変更の可能性があります。 ・2024年3月中旬にRD署名予定。 	

コンサルタント等契約(業務実施)(2024年3月13日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。

注2) プレ公示に関するお問合せは、以下のリンク先をご覧ください(https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer_202108.html)

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) コンサルタント等契約の直近の制度変更についてはJICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認ください。(<https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html>)

注5) 価格開封会及び入札会は「電子入札システム」を通じて行います。(JICAウェブサイト電子入札ポータルサイト:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/ebidding.html>)

注6) 2022年11月2日以降の公示、2022年12月中旬以降の新規契約締結分につき、原則、契約書への電子署名を導入します。(https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021_01.html)

	調達管理番号	24a00036000000	調達件名	ラオス国南部地域中核病院整備計画準備調査 (QCBSーランプサム型)		
	公示日 (予定)	2024年4月3日	担当部課	人間開発部保健第二グループ	業務種別	業務実施契約ー【調査業務】協力準備調査 (無償資金協力)
	履行期間 (予定)	2024年6月21日 ~ 2025年6月20日	選定方法	企画競争		
業 務 内 容	<p>【背景】 ラオスは、医療資源の量・質ともに不十分で、保健サービスのカバー率を示すUHCサービスカバレッジ指数はASEAN加盟国の中で最も低い。特に首都から離れた南部地域では利用できる3次医療機関がなく、チャンパサック県病院が県内・近隣県からの患者搬送にも対応し、制度上2次医療機関であるが実質的に南部地域での3次医療施設としての役割を担わざるを得ない。他方、同病院では、施設・機材の老朽化や診断機器不足による検査・治療の制約・遅延、病床不足による衛生環境の悪化や患者プライバシーの欠如などの課題を抱え、3次医療施設に求められる水準を満たしていない。以上から、ラオス南部4県の地域中核病院としての役割を担うチャンパサック県病院において、重篤な患者に対する医療サービス提供に必要な医療施設及び医療機材の整備を行う事業が検討されている。</p> <p>【目的】本調査は、我が国の無償資金協力として実施する必要性の確認及び適正規模の検討を目的として実施する。</p> <p>【活動内容】目的達成のために、協力の目的、概要、事業費、事業実施体制及びスケジュール、運営・維持管理体制、概略設計・積算、環境及び社会面の配慮等の調査を行う。</p> <p>(1) 第1回現地調査：ラオス保健医療セクターの現状及び最新の関連開発計画の確認、概略設計や報告書案の作成に必要な調査、関係者との協議、関連情報の情報収集</p> <p>(2) 国内解析作業：概略設計の策定、概算事業費の積算、準備調査報告書(案)の作成</p> <p>(3) 第2回現地調査：調査報告書案や先方負担事項等について、先方関係者への説明及び協議</p>			留 意 事 項	<p>【業務担当分野】 本案件では三次レベル医療施設の建築・設計・機材計画に係る専門性を求める。</p> <p>【人月合計】約16.6人月</p> <p>【関連報告書公開情報】セタティラート病院及びチャンパサック県病院整備計画準備調査報告</p>	

コンサルタント等契約(業務実施)(2024年3月13日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。

注2) プレ公示に関するお問合せは、以下のリンク先をご覧ください(https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer_202108.html)

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) コンサルタント等契約の直近の制度変更についてはJICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認ください。(<https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html>)

注5) 価格開封会及び入札会は「電子入札システム」を通じて行います。(JICAウェブサイト電子入札ポータルサイト:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/ebidding.html>)

注6) 2022年11月2日以降の公示、2022年12月中旬以降の新規契約締結分につき、原則、契約書への電子署名を導入します。(https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021_01.html)

★	調達管理番号	23a00826000000	調達件名	アフリカ地域南部アフリカパワープール促進のための広域連携強化プロジェクト		
公示日(予定)	2024年4月3日	担当部課	社会基盤部資源・エネルギーグループ	業務種別	業務実施契約ー【事業実施・支援業務】技術協力プロジェクト	
履行期間(予定)	2024年6月21日 ~ 2027年6月30日		選定方法	企画競争		
業 務 内 容	<p>【背景】 南部アフリカ地域は、コンゴ民主共和国(コンゴ民)をはじめとした包蔵水力、南アフリカやナミビアにおける太陽光・風力等再エネポテンシャルが非常に大きい地域であるが、域内需要の大半を占める南アフリカの電源構成は8割超が石炭となっている。長期的にクリーンかつ安価な電力を域内に供給し、電力アクセスを向上していくために、コンゴ民・インガを中心とした大水力開発の推進と、域内での電力融通を促進していくことが不可欠といえる。 南部アフリカパワープール(SAPP)域内では、2023年11月現在、加盟12か国のうちマラウイ、アンゴラ、タンザニアを除く9か国による広域系統運用が実施されている。SAPP事務局としては、今後全加盟国が接続され電力融通を促していくことを目指している。南部アフリカ域内電力融通促進のためにSAPPは重要な役割を担っているが、さらなる広域電力インフラ整備及び市場運営を進め、広域系統運用を実現するため、JICAに技術協力が要請された。</p> <p>【目的】 本事業は、南部アフリカ地域において、SAPP域内の長期的な供給および需要予測に基づき、優先的に開発されるべき広域電力インフラ特定、域内研修を通じた広域系統運用、市場運営の能力強化を行うことにより、発電所や国際連系線整備、広域系統運用や市場運営の一体的推進を図り、もってクリーンで安価な電力の安定的な利用促進に寄与するもの。</p> <p>【活動内容】 以下の3つの成果発現のための活動を実施する。 成果1: SAPP域内の長期的な供給および需要予測に基づき、優先的に開発すべき広域電力インフラが特定される。 成果2: 域内研修の実施を通じ、広域系統運用にかかる改善策が策定される。 成果3: 域内研修の実施を通じ、電力市場運営にかかる改善策が策定される。</p>			留 意 事 項	<p>【業務従事者の専門分野】 本案件では、パワープール運営にかかる専門性を求める。 【人月合計】約40人月 【関連報告書公開情報】 「アフリカ地域 南部アフリカパワープール情報収集・確認調査」ファイナルレポート(2017年6月) 【その他留意事項】 ・R/D署名予定日: 2024年3月下旬 ・プレ公示の内容は若干の変更の可能性があります。</p>	

コンサルタント等契約(業務実施)(2024年3月13日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。

注2) プレ公示に関するお問合せは、以下のリンク先をご覧ください(https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer_202108.html)

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) コンサルタント等契約の直近の制度変更についてはJICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認ください。(<https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html>)

注5) 価格開封会及び入札会は「電子入札システム」を通じて行います。(JICAウェブサイト電子入札ポータルサイト:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/ebidding.html>)

注6) 2022年11月2日以降の公示、2022年12月中旬以降の新規契約締結分につき、原則、契約書への電子署名を導入します。(https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021_01.html)

	調達管理番号	24a00042000000	調達件名	コートジボワール国地方行政強化セクターローン準備調査 (QCBSーランプサム型)		
	公示日(予定)	2024年4月3日	担当部課	アフリカ部アフリカ第四課	業務種別	業務実施契約ー【調査業務】協力準備調査(有償資金協力)
	履行期間(予定)	2024年6月21日 ~ 2025年2月28日	選定方法	企画競争		
業 務 内 容	<p>【背景】 コートジボワール共和国は内戦終結後の2012年から10年間において平均7%を超える高成長を記録したものの、地方自治体の歳入は対GDP比1%に満たず、地方自治体の開発資金は常に不足している状況にある。加えて、地方自治体の意思決定プロセスに住民が十分に参画できておらず、住民の地方自治への参加を通じた民族融和と社会統合を阻む要因として地方行政の課題となっている。</p> <p>【目的】 本調査は、上記課題を受け、コートジボワールの全国の地方自治体を対象として、住民協働型の行政モデルに基づく社会インフラ整備の実践を通じて、地方自治体の能力強化を図るための円借款事業「地方行政強化セクターローン」の形成を念頭に行うものである。調査においては、コートジボワールの地方自治体の体制や予算等を含む地方行政セクターの概況を確認し、確認結果の分析を通じて、円借款事業の実施に係る具体的な提案を行うことを目的とする。</p> <p>【活動内容】 (1) 国内調査 既存の関連資料の分析・検討、地方行政セクターの概況、地方自治体制度の概要、地方自治にかかると法律・政令の確認、2013年より実施している「中部・北部紛争影響地域の公共サービス改善のための人材育成プロジェクト」をはじめ、関連案件の報告書を踏まえたうえでの本事業の形成に必要な情報の整理等。 (2) 現地調査 ・地方自治体のガバナンス概況調査 ・地方自治体と住民組織(学校運営委員会等)の協働状況に関する調査 ・ガバナンス実績評価指標案の検討 ・ガバナンス実績評価による資金供与対象自治体の選定フロー及び対象外の自治体に対する能力強化研修の検討 ・社会インフラ整備の調達・実施監理にかかる支援体制の検討 ・対象セクター、サブプロジェクトの選定方法の検討・提案</p>			留 意 事 項	<p>【業務従事者の専門分野】 本案件では地方行政セクターに係る専門性を求める。</p> <p>【人月合計】 約24人月</p> <p>【関連報告書公開情報】 コートジボワール国 中部・北部紛争影響地域の公共サービス改善のための人材育成プロジェクト 業務完了報告書 https://openjicareport.jica.go.jp/pdf/12287306.pdf</p> <p>【その他留意事項】 ・コンサルタントの渡航予定地域は外務省危険レベル2以下に限定し、安全対策措置に従い必要な渡航申請を行う予定です。 ・コートジボワール(大アビジャン圏を除く。)は「紛争影響国・地域における報酬単価」を適用予定です。 ・コートジボワール(アビジャン市内のみ)は、安全対策上、JICAが指定する宿泊施設以外への宿泊は認められません。このため、宿泊料については、格付の号を問わず、一律15500円/泊の定額で見積もっていただく予定です。 ・プレ公示の内容は若干の変更の可能性があります。</p>	

コンサルタント等契約(業務実施)(2024年3月13日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。

注2) プレ公示に関するお問合せは、以下のリンク先をご覧ください(https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer_202108.html)

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) コンサルタント等契約の直近の制度変更についてはJICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認ください。(<https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html>)

注5) 価格開封会及び入札会は「電子入札システム」を通じて行います。(JICAウェブサイト電子入札ポータルサイト:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/ebidding.html>)

注6) 2022年11月2日以降の公示、2022年12月中旬以降の新規契約締結分につき、原則、契約書への電子署名を導入します。(https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021_01.html)

	調達管理番号	24a00099000000	調達件名	セネガル国セネガル日本職業訓練校ジャムニャージョ分校建設計画準備調査 (QCBS ーラン プサム型)		
	公示日(予定)	2024年4月3日	担当部課	人間開発部基礎教育グループ	業務種別	業務実施契約ー【調査業務】協力準備調査(無償資金協力)
	履行期間(予定)	2024年6月19日 ~ 2025年7月31日	選定方法	企画競争		
業務内容	<p>【背景】セネガルは、近年生産年齢人口が増加しており、国家開発計画「セネガル新興計画(PSE)」(2014年)では、人口ボーナスの効果を享受した経済と成長の構造改革のための「産業人材育成の推進」が重要とされている。これを受け「教育・訓練の質、公平性及び透明性改善プログラム(PAQUET-EF:2018-2030年)」では、基礎教育過程修了者の職業訓練・技術教育課程への進学割合を7%(2016年)から30%(2030年)へ向上させることを目指しているものの、現状では約10%(2021年)に留まる。</p> <p>産業振興に関しては、2035年までの長期戦略である「産業化政策・戦略」において、主要産業である一次産業に加えて、石油・天然ガス産業やICT・デジタル産業等の新産業が優先セクターとして掲げられている。特に2024年央から生産開始予定の石油・天然ガス産業では、セネガル政府は外国企業参入時に現地人材雇用や現地企業との連携を義務付けるローカルコンテンツ法を適用しており、当該産業を含む産業機械メンテナンスの技術者育成は急務である。また同国は、2030年までに発電量の40%を再生可能エネルギーとする目標を掲げており、同分野の技術者の育成も喫緊の課題である。</p> <p>【目的】上記課題に対応するため、ジャムニャージョにおいて、CFPT分校の建設及び機材を整備することにより、産業機械メンテナンス及び再生可能エネルギー分野の職業訓練実施能力を強化し、もってセネガルと周辺国の産業人材育成を支援する計画を検討中であり、本調査では、無償資金協力を実施するために協力の目的、概要、事業費、事業実施体制及びスケジュール、運営・維持管理体制、概略設計・積算等を確認する。</p> <p>【活動内容】本調査においては、①概略設計の実施、報告書案の作成等に必要な調査、協議、情報収集を行うための現地調査I、②報告書案を先方関係者に説明・協議し、基本的了解を得るための現地調査IIの計2回の現地調査を予定している。</p>			留意事項	<p>【業務従事者の専門分野】本案件は建築計画、職業訓練分野の専門性を求める。</p> <p>【人月合計】約18人月</p> <p>・プレ公示の内容は若干の変更の可能性があります。</p>	

コンサルタント等契約(業務実施)(2024年3月13日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。

注2) プレ公示に関するお問合せは、以下のリンク先をご覧ください(https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer_202108.html)

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) コンサルタント等契約の直近の制度変更についてはJICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認ください。(<https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html>)

注5) 価格開封会及び入札会は「電子入札システム」を通じて行います。(JICAウェブサイト電子入札ポータルサイト:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/ebidding.html>)

注6) 2022年11月2日以降の公示、2022年12月中旬以降の新規契約締結分につき、原則、契約書への電子署名を導入します。(https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021_01.html)

	調達管理番号	23a00982000000	調達件名	タイ国ゼロエミッションビルディング及びヒートポンプによる省エネルギー推進プロジェクト		
	公示日(予定)	2024年4月10日	担当部課	社会基盤部資源・エネルギーグループ	業務種別	業務実施契約ー【事業実施・支援業務】技術協力プロジェクト
	履行期間(予定)	2024年7月5日 ~ 2026年6月26日	選定方法	企画競争		
業務内容	<p>【背景】 タイ政府は、電源開発計画の中で、2070年までの脱炭素社会を目指し、再生可能エネルギーの導入やエネルギーの効率利用に注力している。エネルギー効率化計画も策定され、2037年に2010年比30%のエネルギー効率向上を目標に掲げ、特にエネルギー消費割合が大きい産業・民生部門における、規制や高効率機器の導入に向けた整備が必要である。特に、日本の技術に有意性のあるヒートポンプやゼロエネルギービルディング/ハウス(ZEB/ZEH)に関する技術協力についてタイ国エネルギー省傘下の代替エネルギー開発・効率局から技術協力の要請があったもの。</p> <p>【目的】 ZEB/ZEHおよびヒートポンプ導入推進のためのロードマップ・ガイドラインの策定支援、金融支援策検討を行うことにより、産業及び民生(住宅・商業)部門の省エネルギー政策策定・実行者の能力向上をもって、産業・民生部門のエネルギー効率向上に寄与するものである。</p>			留意事項	<p>【人月合計】 約33.00人月</p> <p>【その他留意事項】 3月中旬にRD署名予定。 プレ公示の内容は若干変更の可能性がございます。</p>	

コンサルタント等契約(業務実施)(2024年3月13日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。

注2) プレ公示に関するお問合せは、以下のリンク先をご覧ください(https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer_202108.html)

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) コンサルタント等契約の直近の制度変更についてはJICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認ください。(<https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html>)

注5) 価格開封会及び入札会は「電子入札システム」を通じて行います。(JICAウェブサイト電子入札ポータルサイト:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/ebidding.html>)

注6) 2022年11月2日以降の公示、2022年12月中旬以降の新規契約締結分につき、原則、契約書への電子署名を導入します。(https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021_01.html)

	調達管理番号	23a00945000000	調達件名	ベリーズ国スイング橋梁架け替え計画準備調査 (QCBS-ランプサム型)		
	公示日(予定)	2024年4月10日	担当部課	社会基盤部運輸交通グループ	業務種別	業務実施契約ー【調査業務】協力準備調査(無償資金協力)
	履行期間(予定)	2024年6月21日 ~ 2025年9月30日	選定方法	企画競争		
業 務 内 容	<p>【背景・目的】 ベリーズ市中心部に位置するスイング橋は当初は上部工が旋回することにより船舶の往来ができたものの現在は故障により上部工の開閉ができず、また老朽化のため通行車両の制限を行っている。本事業は、当国最大都市であるベリーズシティにおいて水害等のリスクが大きい最河口部に位置するスイング橋を架け替えることにより、災害時に備えたインフラ強化を目的とする。</p> <p>【調査内容】 (1) インセプション・レポートの作成、(2) インセプション・レポートの説明・協議、(3) 事業の背景・経緯の確認、(4) 事業の実施・維持管理体制の確認、(5) 運輸交通セクターに係る法令、基準、設計・施工条件の確認、(6) 先方政府、他ドナー及び民間事業者等による関連事業の動向、道路・橋梁整備実績、橋梁設計と施工、現況確認、各種教訓の確認、(7) 架橋位置及び橋梁形式の選定、(8) サイト状況(自然状況等)調査、(9) 環境社会配慮調査(重要な環境社会配慮項目の予測・評価及び緩和策・モニタリング計画案の作成、簡易住民移転計画の作成(住民移転が生じる場合))、(10) 社会状況調査、(11) 交通量調査と将来交通量予測、(12) 支障物件調査、(13) 調達事情調査、(14) 事業内容の計画策定、(15) 現地調査結果概要説明・設計方針等に係る先方実施機関との協議、(16) 免税情報の収集・整理、(17) 相手国負担事項の概要、(18) 維持管理計画の検、(19) 協力対象事業の概略事業費の積算、(20) 協力対象事業実施にあたっての留意事項の整理、(21) 詳細設計実施に向けた留意事項の整理、(22) 想定される事業リスクの検討、(23) 事業の評価(運用・効果指標の検討)、(24) 事業概要の本邦企業への説明(25) 準備調査報告書(案)の作成、(26) 内部照査の実施、(27) 準備調査報告書(案)の説明・協議、(28) 準備調査報告書等の作成</p>			留 意 事 項	<p>【業務従事者の専門分野】 本案件は、環境カテゴリB以上、無償設計積算に係る専門性を求める。 【人月合計】約22人月</p> <p>プレ公示の内容は若干の変更の可能性があります。</p>	

コンサルタント等契約(業務実施)(2024年3月13日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。

注2) プレ公示に関するお問合せは、以下のリンク先をご覧ください(https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer_202108.html)

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) コンサルタント等契約の直近の制度変更についてはJICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認ください。(<https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html>)

注5) 価格開封会及び入札会は「電子入札システム」を通じて行います。(JICAウェブサイト電子入札ポータルサイト:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/ebidding.html>)

注6) 2022年11月2日以降の公示、2022年12月中旬以降の新規契約締結分につき、原則、契約書への電子署名を導入します。(https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021_01.html)

	調達管理番号	24a00054000000	調達件名	ケニア国エネルギー利用の最適化にかかる情報収集・確認調査(一般競争入札(総合評価落札方式-ランプサム型))		
	公示日(予定)	2024年4月10日	担当部課	社会基盤部資源・エネルギーグループ	業務種別	業務実施契約-【調査業務】基礎情報収集・確認調査
	履行期間(予定)	2024年6月12日 ~ 2025年1月31日	選定方法	一般競争入札(総合評価落札方式)		
業 務 内 容	<p>【背景】 ケニアは、地熱をはじめとした再生可能エネルギーに恵まれており、総設備容量に占める再エネ比率は2023年時点で約86%となっている(KenGen)。また、電力アクセス面においても電化率76.5%(2021年、世界銀行)とサブサハラ平均の電化率50.6%を大きく上回る。ケニア政府は長期開発計画「Vision 2030」において、2030年までに発電に占める再エネ率100%、電化率100%、という目標を掲げており、アフリカにおけるグリーン成長を先導する立ち位置にある。</p> <p>【目的】 アフリカは、アジアと比較して日中の産業需要が少ないことから昼夜間の電力需要差が極端に大きく、現状ケニアでは夜の電力需要を賄うために化石燃料を使用している。今後もこの傾向が続き、EV導入等が加速すると、夜間ピークに合わせた電源開発、化石燃料使用にかかる追加投資が必要となる。ピーク需要抑制、ピークシフトにかかる政策、制度面の検討を早期に進めることが望ましく、本調査を通じて検討を行い、アフリカにおいて供給・需要面の双方にフォーカスした新たなアプローチを模索する。</p> <p>【調査内容】 (1) ケニア・エネルギーセクターの政策と計画にかかる補足調査 ・エネルギーセクターにおける現行政策・計画にかかる情報収集 ・現行政策・計画の実施状況調査 ・AFD支援による発電及び送電マスタープランの更新作業状況の確認、追加的インプット ・揚水発電をはじめとしたアンシラリー(調整力)サービスの実施にかかる追加的インプット (2) 電力利用にかかるベースライン調査 ・電力利用ピークにおけるエネルギー利用状況調査 ・電力利用ピーク緩和策(政策、制度面)にかかる検討</p>			留 意 事 項	<p>【業務従事者の専門分野】 本調査では、デマンドサイドマネジメントに係る専門性を求める。</p> <p>【人月合計】 約8.4人月</p> <p>【その他留意事項】 プレ公示の内容は変更の可能性があります。</p>	

コンサルタント等契約(業務実施)(2024年3月13日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。

注2) プレ公示に関するお問合せは、以下のリンク先をご覧ください(https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer_202108.html)

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) コンサルタント等契約の直近の制度変更についてはJICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認ください。(<https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html>)

注5) 価格開封会及び入札会は「電子入札システム」を通じて行います。(JICAウェブサイト電子入札ポータルサイト:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/ebidding.html>)

注6) 2022年11月2日以降の公示、2022年12月中旬以降の新規契約締結分につき、原則、契約書への電子署名を導入します。(https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021_01.html)

	調達管理番号	23a00970000000	調達件名	セネガル国測地網近代化のための能力強化プロジェクト		
	公示日(予定)	2024年4月10日	担当部課	社会基盤部都市・地域開発グループ	業務種別	業務実施契約ー【事業実施・支援業務】技術協力プロジェクト
	履行期間(予定)	2024年6月26日 ~ 2027年12月28日	選定方法	企画競争		
業務内容	<p>【プロジェクトの背景】 セネガルの都市人口は過去数十年で著しく増加し、急速な都市化に対して社会インフラの整備や公共サービスの改善が追い付いていない。また、適切な土地管理規制・計画の不在も社会インフラ整備の遅れや無秩序な都市拡大の原因となっている。セネガル政府は、土地管理規制・計画の強化・改善に向けて、測地網の整備及び最新かつ正確な地理空間情報のアクセスを実現する電子基準点網の整備の方針を掲げている。セネガル政府は、最新の世界測地系に準拠するための測地網の近代化や測量業務の効率化を目指して電子基準点を試行的に設置したものの、電子基準点を所管する専門部局が設置されておらず、戦略的に利活用を促進するための専門人材育成や機材の運営維持管理体制の確立が課題となり、本格的な展開に至っていない。本プロジェクトは、電子基準点及びデータセンターの整備と運営維持管理能力の強化、その利活用促進を目的とした技術協力を実施する。</p> <p>【業務の目的】 本業務は、セネガル国ダカール市、ティヴァウン市、ンブール市、及びそれら3都市に囲まれた地域において、電子基準点・データセンターの整備、運営維持管理能力強化、利活用促進及び座標系移行にかかる技術移転を行うことにより、国家測地網の管理・活用に係る能力強化を図り、もって高精度測量及び地籍測量の効率化、地形図更新、社会インフラ整備、都市計画整備の促進、及びセネガルの持続可能な社会経済発展に寄与するもの。</p> <p>【業務の内容】 以下に示すプロジェクト成果達成のための技術移転、能力強化にかかる活動を行う。 ①電子基準点の整備とネットワーク化のための計画策定 ②電子基準点整備・維持管理基準の策定及び実施体制の整備 ③データセンターの運用とデータ配信の技術習得 ④国家座標更新のための技術支援 ⑤利活用促進のための人材育成プログラムの策定 ⑥パイロット事業の実施</p>			留意事項	<p>【業務従事者の専門分野】 本プロジェクトでは、電子基準点・データセンター運営計画、測地基準系管理、電子基準点整備計画・設置／運営維持管理、データ配信・品質管理、電子基準点データ活用推進、研修・セミナー計画にかかる専門性を求める。</p> <p>【人月合計】 約31人月</p> <p>【関連報告書公開情報】 「Society5.0時代における地理空間情報の整備と利活用に係る情報収集・確認調査報告書」(2021年)</p> <p>【その他留意事項】 ・プレ公示の内容は若干の変更の可能性があります。 ・2024年3月中旬にR/D署名予定。</p>	

コンサルタント等契約(業務実施)(2024年3月13日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。

注2) プレ公示に関するお問合せは、以下のリンク先をご覧ください(https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer_202108.html)

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) コンサルタント等契約の直近の制度変更についてはJICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認ください。(<https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html>)

注5) 価格開封会及び入札会は「電子入札システム」を通じて行います。(JICAウェブサイト電子入札ポータルサイト:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/ebidding.html>)

注6) 2022年11月2日以降の公示、2022年12月中旬以降の新規契約締結分につき、原則、契約書への電子署名を導入します。(https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021_01.html)

	調達管理番号	24a00020000000	調達件名	全世界(広域)2024年度道路アセットマネジメントプラットフォーム技術支援に関する情報収集・確認調査(一般競争入札(総合評価落札方式—ランプサム型))		
	公示日(予定)	2024年4月10日	担当部課	社会基盤部運輸交通グループ	業務種別	業務実施契約—【調査業務】基礎情報収集・確認調査
	履行期間(予定)	2024年6月5日 ~ 2025年2月14日	選定方法	一般競争入札(総合評価落札方式)		
業 務 内 容	<p>【背景】 開発途上国において、将来的に大きな負担となる道路・橋梁等の維持管理・更新費用を可能な限り低減させ、持続可能な社会を構築していくためには、道路アセットマネジメント(道路AM)を推進していくことが必要不可欠である。 また、予防保全型メンテナンスを行っていく解決策の一つとして、衛星技術等を活用した効率的な観測・モニタリング手法の検討・研究開発が国内外で進められている。その他、温室効果ガスの排出削減に向けた国際的な機運が急速に拡大している中、欧州諸国をはじめとする先進国や主要ドナーでは環境面に配慮した道路計画・設計が推進されている。</p> <p>【目的】 本案件は、道路アセットマネジメントプラットフォーム(RAMP)の中で実施している「道路AM成熟度評価」の更なる改良を図り、改良後の有用性及び課題を確認することを目的とする。また、インフラモニタリングや脱炭素社会実現に向けた、各種技術・施策に係る国内外動向調査を行い、JICA事業での将来的な活用可能性を検討することを目的とする。</p> <p>【活動内容】 ①道路AM成熟度評価の新たな評価シートの作成及び現地調査 過年度に実施された道路AM成熟度評価の評価シートの構成及び評価項目を参考としつつ、評価項目の定量化や評価項目の縮減を図る。また、新たな評価シートの有用性及び課題を確認するため現地調査を2か国において実施する。 ②道路橋梁インフラモニタリングの最新技術に係る国内外動向調査 ③道路アセットマネジメント分野での脱炭素の施策に係る国内外動向調査 ④RAMP活動の広報用資料の作成</p>			留 意 事 項	<p>【人月合計】 ・約8.5人月</p> <p>【関連報告書公開情報】 ・道路アセットマネジメントプラットフォーム技術支援に関する情報収集・確認調査(2022年) □ ・開発途上国における橋梁維持管理にかかる支援に関する調査(プロジェクト研究)(2019年)</p> <p>【その他留意事項】 プレ公示の内容は若干の変更の可能性があります。</p>	

コンサルタント等契約(業務実施)(2024年3月13日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。

注2) プレ公示に関するお問合せは、以下のリンク先をご覧ください(https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer_202108.html)

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) コンサルタント等契約の直近の制度変更についてはJICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認ください。(<https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html>)

注5) 価格開封会及び入札会は「電子入札システム」を通じて行います。(JICAウェブサイト電子入札ポータルサイト:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/ebidding.html>)

注6) 2022年11月2日以降の公示、2022年12月中旬以降の新規契約締結分につき、原則、契約書への電子署名を導入します。(https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021_01.html)

	調達管理番号	24a00186000000	調達件名	ホンジュラス国バジェ・デ・スーラ都市圏洪水対策マスタープランプロジェクト		
	公示日(予定)	2024年4月17日	担当部課	地球環境部防災グループ	業務種別	業務実施契約ー【事業実施・支援業務】開発計画調査型技術協力(技術協力プロジェクト)
	履行期間(予定)	2024年7月15日 ~ 2027年7月14日	選定方法	企画競争		
業 務 内 容	<p>【背景】 ホンジュラスは、北は大西洋、南は太平洋に面しており、大西洋上で発生するハリケーンと豪雨により洪水被害を受けやすい地勢にある。毎年のようにハリケーンが到来する同国では、2020年ハリケーン・イータ及びイオタが深刻な被害をもたらした。特に洪水被害は、ホンジュラス北西部に位置するバジェ・デ・スーラ都市圏に集中している。同都市圏は、チャメレコン川及びウルア川が流れており、同都市圏中流部に位置するラ・リマ市、同市にある国際空港、居住区、農地、工業地帯、下流部に位置する農地、工業地帯などが浸水している。 ホンジュラス政府は災害リスク削減に向けて、2009年に災害管理国家システム法(SINAGER)、2013年に国家総合リスク管理政策法(PEGIRH)等の法令を整備した。ホンジュラスの開発政策・計画である「国家ビジョン2010-2038」では、災害対策を重点分野としている。しかしながら、洪水対策において流域全体の計画に基づいた治水対策が講じられておらず、開発に伴い被害が拡大している。 このため、洪水リスクが高く経済資産が多い同都市圏を対象とした事前防災投資を推進する洪水対策マスタープラン(Flood Control Master Plan(以下「FCMP」という。))の策定が喫緊の課題である。</p> <p>【本事業の目的】 本事業はバジェ・デ・スーラ都市圏において、流域特性・気候変動影響を踏まえ科学的根拠・客観的事実に基づくFCMPを策定することにより、先方政府によりFCMP承認を図り、もって同都市圏における洪水リスクの削減に寄与する。</p> <p>【活動内容】 (1) 対象流域における基礎調査及び治水対策の課題抽出。 (2) 治水計画マスタープラン(Flood Control Master Plan)の策定 (3) 優先事業のプレ・フィージビリティ調査の実施 (4) 治水対策を効果的に実施するための関係機関間の協力体制の構築</p>			留 意 事 項	<p>【人月合計】約40人月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレ公示の内容は、公示時には若干の変更の可能性があります。 ・RDは2024年3月に署名済み。 	

コンサルタント等契約(業務実施)(2024年3月13日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。

注2) プレ公示に関するお問合せは、以下のリンク先をご覧ください(https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer_202108.html)

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) コンサルタント等契約の直近の制度変更についてはJICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認ください。(<https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html>)

注5) 価格開封会及び入札会は「電子入札システム」を通じて行います。(JICAウェブサイト電子入札ポータルサイト:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/ebidding.html>)

注6) 2022年11月2日以降の公示、2022年12月中旬以降の新規契約締結分につき、原則、契約書への電子署名を導入します。(https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021_01.html)

	調達管理番号	23a00561000000	調達件名	エチオピア国小規模灌漑開発アドバイザー業務		
	公示日(予定)	2024年4月17日	担当部課	経済開発部農業・農村開発第二グループ	業務種別	業務実施契約ー【事業実施・支援業務】技術協力個別案件
	履行期間(予定)	2024年6月20日 ~ 2026年6月30日	選定方法	企画競争		
業 務 内 容	<p>【背景】 エチオピア連邦民主共和国に於いて、農業は労働人口の67%、GDPの37.6%を占める基幹産業であるが、エチオピアにおける農家の95%は、平均耕作面積1ha以下の小規模農家であり、その多くは天水に依存した生産を行っている。こうした中で、2018年時点のエチオピアに於ける小規模灌漑整備面積は、開発可能面積とされる約10百万haのうち、2.8百万ha(28%)に留まっている。灌漑の整備及び維持管理に関する戦略及びガイドラインは策定されているが、その実施のための能力強化が必要とされている。</p> <p>【目的】 エチオピア連邦政府および州政府の小規模灌漑の維持管理に関する計画策定、設計・施工監理、水利組合組織化の能力の向上。</p> <p>【活動内容】 以下の3つの成果発現のための活動を実施する。 1. 連邦農業省小規模灌漑開発局において、エチオピア全国の小規模灌漑の現状が把握され、優先順位を踏まえた上で、施設改修及び予算の計画が策定される。 2. 灌漑施設改修パイロットサイトでの現場研修を通じて、連邦農業省小規模灌漑開発局職員及び州政府灌漑担当職員の小規模灌漑施設の改修のための設計、施工監理能力が強化される。 3. 水利組合パイロットサイトでの現場研修を通じて、州農業局の郡配属職員による小規模灌漑施設利用者の水利組合の組織化、灌漑施設の維持管理実施促進能力が強化される。</p>			留 意 事 項	<p>【人月合計】 約16人月</p> <p>【その他留意事項】 ・プレ公示の内容は変更の可能性があります。</p>	

コンサルタント等契約(業務実施)(2024年3月13日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。

注2) プレ公示に関するお問合せは、以下のリンク先をご覧ください(https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer_202108.html)

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) コンサルタント等契約の直近の制度変更についてはJICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認ください。(<https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html>)

注5) 価格開封会及び入札会は「電子入札システム」を通じて行います。(JICAウェブサイト電子入札ポータルサイト:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/ebidding.html>)

注6) 2022年11月2日以降の公示、2022年12月中旬以降の新規契約締結分につき、原則、契約書への電子署名を導入します。(https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021_01.html)

	調達管理番号	24a00184000000	調達件名	ケニア国灌漑地区におけるコメ生産強化のための能力開発プロジェクト フェーズ2		
	公示日(予定)	2024年4月17日	担当部課	経済開発部農業・農村開発第二グループ	業務種別	業務実施契約ー【事業実施・支援業務】技術協力プロジェクト
	履行期間(予定)	2024年7月5日 ~ 2029年1月31日	選定方法	企画競争		
業 務 内 容	<p>【背景】 JICAはケニア中部キリニャガ郡のムエア灌漑地区に、1980年代から灌漑開発や稲作技術を普及し、直近の技術協力「稲作を中心とした市場志向農業振興プロジェクト(RiceMAPP)」(2012年1月~2017年1月)では稲作技術を開発し、「灌漑地区におけるコメ生産強化のための能力開発プロジェクト(CaDPERP)」(2019年3月~2024年3月)で更なる普及、同国西部に位置キスム郡の西部灌漑地区に稲作技術を普及してきた。他方で、ムエアでは農業機械化促進や拡張灌漑地区への稲作・水管理技術の普及等の課題があり、西部灌漑地区では、コメのバリューチェーンがムエアと比較して確立できておらず、特に収穫後処理が原因となり、生産されたコメがウガンダに流出しており、国内流通を志向したバリューチェーンの形成、ケニア国内で趣向性の高い品種選定、さらなる稲作技術・水管理技術の普及が課題となっている。</p> <p>【目的】 対象灌漑地区において、コメのバリューチェーンの強化、適したコメ品種の選定、稲作栽培及び水管理技術の普及を行うことにより、対象灌漑地区で生産されたコメの国内流通量が増加を図り、もって対象灌漑地区及び周辺地域での国内流通を志向したコメ生産が促進され、同国のコメ自給率の向上に寄与するもの。</p> <p>【活動内容】 ・対象灌漑地区におけるコメのマーケティング戦略とバリューチェーンプラットフォームの運営を通じてコメバリューチェーン関係者間の能力と連携が強化される。 ・対象灌漑地区のマーケティング戦略と農業生態系を考慮した推奨コメ品種が提案される。 ・RiceMAPPとCaDPERPが導入した稲作技術が対象灌漑地区で普及される。 対象灌漑地区における水管理活動を通じて、灌漑用水の利用効率向上のための能力開発がなされる。</p>			留 意 事 項	<p>【業務従事者の専門分野】 本案件では、コメバリューチェーン開発にかかる専門性を要する。</p> <p>【人月合計】約74人月 ・プレ公示の内容は若干の変更の可能性があります。 ・RD署名済み(2024年2月12日付) ・契約を2期に分ける想定です。</p>	

コンサルタント等契約(業務実施)(2024年3月13日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。

注2) プレ公示に関するお問合せは、以下のリンク先をご覧ください(https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer_202108.html)

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) コンサルタント等契約の直近の制度変更についてはJICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認ください。(<https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html>)

注5) 価格開封会及び入札会は「電子入札システム」を通じて行います。(JICAウェブサイト電子入札ポータルサイト:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/ebidding.html>)

注6) 2022年11月2日以降の公示、2022年12月中旬以降の新規契約締結分につき、原則、契約書への電子署名を導入します。(https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021_01.html)

	調達管理番号	24a00187000000	調達件名	タイ国使用済み自動車(ELV)の適正管理に向けた包括的制度構築プロジェクト		
	公示日(予定)	2024年4月17日	担当部課	地球環境部環境管理・気候変動対策グループ	業務種別	業務実施契約ー【事業実施・支援業務】技術協力プロジェクト
	履行期間(予定)	2024年7月12日 ~ 2028年1月12日	選定方法	企画競争		
業 務 内 容	<p>【背景・目的】 タイ王国は2030年までに自動車製造全体の30%を電気自動車にするという目標を掲げており、今後タイにおいて乗換需要が高まり使用済み自動車の急増が予想されるが制度は未整備で、フロン類の大气放出によるオゾン層破壊や温室効果促進、廃油・廃液・廃材による土壌汚染・水質汚濁といった環境被害が懸念される。本事業は、タイ政府による使用済み自動車の適正管理に必要な制度準備を行うことで、環境負荷物質の適正処理や資源循環を支援するもの。本事業は、タイにおいて使用済み自動車に適正に管理されるメカニズムと実施体制を策定、パイロットプロジェクトにより検証することにより、ELV管理制度と実施計画案策定を図り、もってELV管理制度構築が開始されることに寄与することを目的とする。</p> <p>【活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ELVに関する現状調査等を実施し、報告書を作成する。省庁横断的なワーキンググループを設立し、セミナーやワークショップを通じて調査結果を周知する。 ・ELVデータ管理制度やELV収集、運搬、解体、リサイクル、処理・処分の追跡メカニズムや報告ガイドライン案を策定する。 ・自動車登録・抹消登録、車検、課税、保険の仕組みについて、他国との比較検討を行い、政策提言を作成する。また、他国の廃車収集・引き取りメカニズムについて調査し、ELV収集・引取業者登録制度や収集・引取ガイドライン案を策定する。 ・解体・リサイクル業者に対する現行認可制度とガイドライン見直し案を提案する。また、解体証明書の発行手続きや解体業者・リサイクル業者に対する資金インセンティブを策定する。 ・ELV管理制度(案)と実施計画(案)を策定する。パイロットプロジェクトの結果に基づき、ELV管理制度(案)を改訂し、ELV管理制度に関する関係者の認知を高めるための方策を提案する。 			留 意 事 項	<p>【業務従事者の専門分野】 本案件ではELV管理制度構築に係る専門性を求める</p> <p>【人月合計】 約103.0人月</p> <p>【関連報告書公開情報】 本業務に関する以下の資料がウェブサイトで公開されています。 ・事業事前評価表</p> <p>【その他留意事項】 RDは2024年2月に署名済み。 プレ公示の内容は若干変更する可能性があります。</p>	

コンサルタント等契約(業務実施)(2024年3月13日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。

注2) プレ公示に関するお問合せは、以下のリンク先をご覧ください(https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer_202108.html)

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) コンサルタント等契約の直近の制度変更についてはJICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認ください。(<https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html>)

注5) 価格開封会及び入札会は「電子入札システム」を通じて行います。(JICAウェブサイト電子入札ポータルサイト:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/ebidding.html>)

注6) 2022年11月2日以降の公示、2022年12月中旬以降の新規契約締結分につき、原則、契約書への電子署名を導入します。(https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021_01.html)

	調達管理番号	24a00053000000	調達件名	ベトナム国変動性再生可能エネルギー大量導入に向けた電力系統運用能力向上プロジェクト		
	公示日(予定)	2024年5月15日	担当部課	社会基盤部資源・エネルギーグループ	業務種別	業務実施契約ー【事業実施・支援業務】技術協力プロジェクト
	履行期間(予定)	2024年7月26日 ~ 2027年8月26日	選定方法	企画競争		
業 務 内 容	<p>【背景】ベトナム政府は、2020年2月に国家エネルギー開発戦略の方向性に関する決議を発行し、電力系統の増強及び再生可能エネルギー推進を含めた方向性を示し、再エネ比率を増加とするとともに、温室効果ガス排出削減に取り組んでいる。一方、大量の変動型再生可能エネルギー導入は、電力系統の不安定化が懸念される。</p> <p>信頼性の高い安定的な電力系統の運用を進めるため、給電指令部門は新たな課題を解決していく必要があり、ベトナム電力公社(EVN)、特に国家給電指令所(NLDC)の能力向上と、技術的インフラ整備が必要である。</p> <p>【目的】本事業は、上述のような給電指令や電力システム運用上に関する課題解決を支援することで、再エネ大量導入に堪えうる電力系統の柔軟性と信頼性を確保し、再エネ発電設備容量増加を目指すエネルギー国家政策の実現に寄与するものである。</p> <p>【成果内容】</p> <p>成果1: ベトナムの需要予測システムに、気象予測に基づいたVREの出力予測システムが組み込まれる。</p> <p>成果2: VREの大量導入に伴う需給変動量を吸収するための周波数調整力必要量が予測される。</p> <p>成果3: ベトナムの状況を踏まえた、VREの出力抑制の具体的な方法が提案される。</p> <p>成果4: ルーフトップソーラーの大量導入時のNLDC側の需要への影響が確認される。</p> <p>成果5: EVNの設備更新計画案に、本プロジェクトで検討した設備更新内容が反映される。</p>			留 意 事 項	<p>【人月合計】 約58.00人月</p> <p>【その他留意事項】 調達管理番号 23a00243から変更しました。 5月上旬にRD署名予定です。 プレ公示の内容は若干の変更の可能性があります。</p>	